



## 主題

「あなたならできる！きっとできる」

“You can do it! Yes, you can!”

— 生きる しなやかに さわやかに —

— Live flexibly and refreshingly —



熊本に心を寄せる日々です。

## — 平成28年 熊本地震 —

西日本区理事 遠藤通寛

此の度の、熊本における度重なる地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますと共に一日でも早い復旧をお祈り申し上げます。

日々の報道ではかなりの速度で復旧作業が進んでいるようです。在来線、新幹線、そして本日29日には高速道路が復旧されたようです。熊本在住のワイズの皆様は被災されているにもかかわらず、ご自分のことはさておき熊本 YMCA と共にそれぞれの能力を発揮され、昼夜を問わずお働きをされておられるようです。本当に頭が下がります。西日本区地域奉仕・環境事業主任の川上孝司氏が4月26日27日に阿蘇市、熊本市に入りました。理事通信5月号にて報告いただきます。

さて、先に各クラブ会長の皆様にはご案内させていただきましたが、改めてご報告申し上げます。西日本区といたしましては、被災された各ワイズを支援するため、緊急支援として地域奉仕・環境事業資金より300万円の拠出を、同事業委員会にお諮りいただき、常任役員会の決議をもって承認をいただきました。また4月16日に行われました東西理事連絡会議にて、東日本区からもご支援の申し出が御座いました。これらの支援金の使途については、五嶋義行九州部長にお任せをいたしました。五嶋義行九州部長のお住まいの阿蘇市は報道の通り送電線が崩壊し、停電状態であり、また道路も寸断され阿蘇市以外には移動が出来ない状況にあるそうです（五嶋部長談）。よって、次期理事事務局長の水元裕二様にて管理いただくこととなりました。

今後、西日本区といたしましては、被災されたワイズを支援するための募金を、各クラブの皆様をお願いいたします。熊本地区は YMCA と一体となり活動されています。そのワイズを応援しましょう。今後、更なる YMCA の力となり、被災地の地域奉仕のためのお働きをされることでしょう。

振込は別紙見本をご参照ください。西日本区の各種献金振込用紙が無い場合は、郵便局にありま



言われています。地震から約2週間が経過しますが、今でも震度2～4クラスの地震が多く、余震回数 884回と日本最大級です。この余震の影響で不安な生活を余儀なくされています。

人的被害も、死者49人を筆頭に死傷者1,100人となっています

物的被害として、建物全壊1553棟 半壊1460棟等 約5,000棟、宇土市役所をはじめ公共施設も69棟が全・半壊状態となっています。

お蔭で、ワイズメン、YMCA スタッフ&関係者に人的被害はなかったものの、物的被害は、大小合わせてかなりの被害をこうむりました。

また熊本 YMCA の建物、施設は全・半壊は無かったものの、柱、壁のヒビ、剥がれ落ち、天井板の落下等 被害が大きく営業復帰にかなりの日数を要します。

熊本 YMCA は、公共の体育館や運動施設の指定管理社として3つを運営していますが、その内益城町(避難民1200名 車中泊600名 計約1,800人) 御船町(避難民 約200人)の施設が被害が大きい中にも避難所として指定されていますので、ワイズメンも YMCA と共に被災者 避難民の支援に多くのワイズメンが大きく関わっております。以下 写真と共に。



4月14日の震源地、

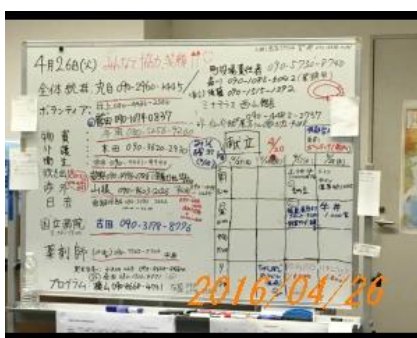
地番沈下が 約30cm

建物外観

益城町の施設

ここに車中泊も含めて、

約1800名が避難されています。



事務所での管理ボード

天井板が剥離して落下

剥離した天井板

この残骸片付けと、天井修理が完了したら、約2000名規模の避難所となり、益城町からYMCAが依頼を受けて、新たに被災者支援活動が開始される予定です。ワイズメンとしては、熊本YMCA副会長であり次期九州部部長の宮崎隆二メンが、地震発生当初から日夜全面的に支援されています。



避難所風景



西原村の倒壊現場風景



益城町の倒壊現場風景



熊本のワイズメンとして、大きな支援の柱は、

- 1) 避難所・被災者支援：益城町総合体育館・御船スポーツセンター・阿蘇地域が中心
- 2) 熊本 YMCA 支援：資金的&人的に
- 3) 体・心のケアを目的にメディカルケア：東京のNGO医師団と連携して
- 4) 被災したワイズメンの支援

いずれにしましても5年位の長期戦が予想されますので、ワイズメンとしましてもその支援体制作りをしていく予定です。皆様の暖かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2016年4月27日現在

◇川上孝司地域奉仕・環境事業主任が被災地を訪問しました。

## 現地レポート

地域奉仕・環境事業主任 川上孝司

4月18日から20日にかけて、熊本地震の視察に行つて参りました。岩本次期理事にご案内いただき、YMCA阿蘇野外活動センターを訪問。ここは建物の被害はほとんどなく、YMCAの職員学生ボランティアたちが被災者のための救援活動の準備で慌ただしく打ち合わせ準備を進めていました。そのあと死者49人負傷者1,100人。物的被害として、建物全壊1553棟 半壊1460棟等 約5,000棟といった甚大な被害をもたらした今回の震源地である益城町に向かいました。

町の中心街に入ると、ほとんどの家が傾き倒れ、旧家も多いため、屋根の重みで完全倒壊したい家が多く見られました。道路もあらゆる所で隆起し、通行出来ない箇所もいくつかありました。ここ益城町に、熊本 YMCA が指定管理団体として管理されている大きな体育館やコミュニティーホールが配備された益城町公民館があります。この建物が今回の地震における被災された皆さんの避難場所として活用されています。しかし収容人数に限りがあり、多くの住む家をなくされた方達は、会館の駐車場で車中生活をされています。屋外スペースにはボランティア団体による炊き出しや仮設トイレ、自衛隊による給水活動、仮設入浴施設、日本赤十字による仮設病院などが設けられています。建物の内部に入ると多くの被災者の皆さんでひしめき合っていて紙パネルで仕切られた小さな空間で生活されています。現在は熊本 YMCA と熊本在住のワイズメンズクラブメンバー、学生やボランティアの皆さんが、全国から届いた救援物資の仕分けや分配にまた被災者の方の会館内の管理や相談まで昼夜を問わず働いておられます。

先日、九州部による熊本震災支援対策委員会が発足され、活動がスタートしました。今後、遠藤理事の指揮の下、皆様のご協力をお願いいたします。



◇平成28年熊本地震につきましては、今後も九州部や YMCA などから寄せられた現地の情報、様子などを随時お届けいたします。



◇お詫びと訂正 年次代議員会開催日につきまして、以下の通り訂正いたします。

今期の年次代議員会を開催するにあたり、代議員の皆様へお届けしました「代議員会開催公告」につきまして、開催日を6月24日(土)としておりましたが、正しくは6月25日(土)です。大変申し訳ございませんでした。お詫びして訂正いたします。(西日本区書記 正野忠之)



## 5月の強調月間 LT

リーダーシップなくしてリーダーに非ず！ クラブ、部、区、あらゆる機会に学びの場が存在します。そんな機会を有意義に捉える事が、スキルアップであり、ワイズダム拡大の礎です。楽しみましょう！

船木 順司 ワイズリーダーシップ開発委員長(京都トップスクラブ)



## 今月の聖句

### 5月 聖書

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。 (マタイによる福音書6章26節)

### 聖句黙想

イエスの「山上の説教」がまとめられた章句の中でも印象深い部分です。イエスの話に耳を傾けようと集まった人達は、思い悩むに十分な理由のある人たちでした。その苦労をよく知っているイエスが「明日のことまで思い悩むな」と続けます。「そう言われても・・・」と思いながらも空を見上げてみよう。輝く5月の空と、白い雲、目的ありげな鳥たちが見える。一瞬、心を吹き抜ける風をどう言い表せばよいのでしょうか。視界の変化に身を委ねてみたいと思います。

西日本区チャプレン 江見 淑子



第19回西日本区大会の登録期限は5月20日です！  
まだ間に合います！ ご登録をお願いいたします！

